

やつしろ市議会だより

平成25年12月定例会



▲八代市沿岸の干潟で採餌するクロツラヘラサギ（全世界に約2,700羽しかいない絶滅危惧種）

主な記事

- ◎12月定例会の流れ……………2
- ◎各常任委員会報告……………3
- ◎決算審査特別委員会報告……………4
- ◎質疑・一般質問（19人が登壇）……………7
- ◎市議会だよりについて……………13
- ◎12月定例会採決結果一覧……………14～15
- 《特集》
- ◆市民の皆様も議会を傍聴しませんか……………16
- ◎編集後記……………16

第34号

平成26年2月1日発行

編集・文責

八代市議会広報委員会

☎0965-32-5984
(市議会事務局)

12月定例会の流れ（会期23日間）

| 月 日 | 会議名 | 内 容 |
|-----------|--------------|---|
| 11月25日(月) | 本会議（提案理由） | ・市長より平成25年度一般会計補正予算を含む議案26件が提案 |
| 12月2日(月) | 本会議（質疑・一般質問） | <ul style="list-style-type: none"> ・19人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 ・5日(木)に市長より、1件の追加提案 ・各議案を関係常任委員会に付託 |
| 3日(火) | 〃 | |
| 4日(水) | 〃 | |
| 5日(木) | 〃 | |
| 9日(月) | 建設環境委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・付託議案を各常任委員会で審査（請願陳情含む） |
| 10日(火) | 文教福祉委員会 | |
| 11日(水) | 経済企業委員会 | |
| 12日(木) | 総務委員会 | |
| 17日(火) | 本会議（討論・採決） | <ul style="list-style-type: none"> ・決算審査特別委員会委員長より平成24年度各会計決算議案12件について審議結果報告後、採決 ・各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 ・市長より、人事案件2件が追加提案され、採決 <p>※各議案の採決結果については、14～15ページを御参照ください。</p> |

平成25年度一般会計補正予算

7930万円

○肥薩おれんじ鉄道運行支援対策事業補助金

381万8000円

肥薩おれんじ鉄道を安定的に運行させるため、鉄道基盤の設備維持に係る費用について補助を行うもので、平成25年度肥薩おれんじ鉄道株主総会における決算の承認並びに、負担割合についての熊本・鹿児島両県協議が整ったため補正するもの。

○生姜青枯病緊急対策事業補助金

700万円

平成25年10月に八代市内のショウガ圃場において、ショウガ青枯れ病が確認された。根絶及び汚染拡大の抑制を行うための対策として、通常の土壌消毒剤（ダゾメット剤）にクロルピクリン剤を追加併用することによる土壌消毒の徹底実施を図るもので、追加薬剤に係る経費について補正するもの。

○市内一円土地改良整備事業

1610万円

県営海岸保全事業による鏡町港区排水路工事が平成26年度から施工されることの内定を受け、工事の支障物件となる建物等の切り取り改造を事前に行う必要が生じたため、補償費を補正するもの。

など

議案・陳情など43件を議決

委員会報告

全ての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

この度は、十二月十七日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆平成二十五年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第二号・雨水ポンプ場管理運営事業について

問 年度内完了が困難な具体的理由について

答 今回見つかった部品は中古であり、現物使用ができず、その加工に約二カ月を要する。あわせて、整備期間の確保も必要となることから、年度内の完了は困難である。

問 中央ポンプ場は経過年数も長く、これからも故障、ふぐあいが発生することも予想されることから、今後の整備方針について

答 現在ポンプ場施設の更新に向けて長寿命化計画を策定中であり、平成二十七年度に詳細設計、平成二十八年度から三十三年度にかけての約六十年で耐震補強等を含む更新工事を予定している。

意見 冠水対策のかなめとなるポンプ場については、更新も踏まえて一層の整備促進を願う。

文教福祉委員会

◆平成二十五年度八代市一般会計補正予算・第八号・子ども・子育て支援事業計画策定事業について

問 子ども・子育て支援システムの概要について

答 これまでは全国の市町村情報を共有するため、国・県と紙ベースで情報のやりとりをしていたものを、新制度が開始されてから電子データで行うためには、全国統合システムへの接続が必要であること。さらには、各種認定情報や施設、事業者情報、交付金の申請及び交付事務などについて全て電子データで情報管理ができるシステムの構築を行うものである。

その他の主な質疑

○地方交付税上措置してある保健師数と本市保健師の実数について

経済企業委員会

◆八代市さかもと温泉センター、八代市坂本憩いの家、八代市広域交流センターさかもと館に係る指定管理者の指定について

問 現在の委託料と比較して年間で二千万円程度増加している理由について

答 前回の年間基準金額は二千三百五十万円としており、その金額と比較すると、今回は、職員の人件費単価等の統一と燃料・電気代の高騰による増額分約六百八十万円、入浴料、食堂、物販、施設利用等の収入減への補填分約六百七十万円、合わせて千三百五十万円がふえており、このことが結果的に委託料の増額になったものと考えている。

その他の主な質疑

○八代市さかもと温泉センターにおける平成二十五年度入館者見込み数の減少理由について

総務委員会

◆平成二十五年八代市一般会計補正予算・第八号・五つの公共施設の指定管理委託に伴う債務負担行為補正について

問 今回、各施設の指定管理者は、民間事業者、NPO法人、第二セクターとなつていますが、個々の契約期間が異なつていて、この指定管理者制度に関する運用指針の有無及び、契約期間の考え方について

答 指定管理者制度を導入する際、運用指針を策定しており、その中で指定期間については、原則として三年もしくは五年と明文化している。この期間については、施設の性格や設置目的、管理運営の安定や効率化、さらには新規参入機会の確保等を含めて、各所管課で総合的に判断することになっている。

その他の主な質疑

○肥薩おれんじ鉄道の運賃値上げ報道に対する熊本県の対応について
○交通防犯に対する行政としての認識について

平成24年度 一般会計・特別会計決算を認定！！

平成25年12月17日、12月定例会閉会日において、決算審査特別委員会委員長より委員会（延べ5日間）での審査結果の報告があり、一般会計及び各特別会計決算の12件が認定されました。ここでは、その委員長報告を抜粋して掲載いたします。

一般会計

歳入 574億6765万6030円
歳出 555億4554万9309円

特別会計（11会計）

歳入 379億9885万8943円
歳出 377億1209万1361円

一般会計

〔歳入〕

問 市税の収入未済額のうち固定資産税分の占める割合は六五・三%に上つていますが、これは、現在の固定資産税納付期限の回数、全期一括納付または年四回であり、一回に納める納税額が大きいために要因の一つではないかと考える。加えて、本年十月分から段階的に老齢年金が削減されていること、来年四月から消費税率が上がることなど、納税者の負担感を考慮すると、仮に、納付回数が年十二回となれば一回に納める納税額は減少し徴収率が上がるのではないかと思うが、毎月納付は検討しないのか

答 毎月納付に移行了した場合、月々の事務が複雑になることが予想されるため、現行の納付回数を維持する考えである。

その他の主な質疑

○実質単年度収支が赤字となった理由について
○評価額見直し後の固定資産税の減額幅について
○公立及び私立保育園の保育料滞納対策について
○市税滞納の要因とその対策について
○支払い会計上の資金不足対策について

- 不能欠損処分に至る判断基準について
- 市税納付における窓口払いと口座振替の比率について
- 指定管理者からの納付金額について

【歳出】

◆健康増進事業について

問 五十歳以上の男性を対象とした前立腺がん検診の受診者数が三百五十七人と思いのほか伸びず、これまで以上の周知啓発を図っていくとのことであるが、受診率向上に向けた取り組みについて

答 当該検診については、市報を通じて希望者を募っているが、本年度も五百人枠に対して、百九十一人とどまっており受診者数の増加には至っていない状況を踏まえると、今後は、周知の期間や検診期間の延長を図り、より男性に絞ったPR方法を工夫するなど、受診率の向上に努めたい。

問 健康増進事業の全体的な方向性としては、早期発見と早期治療といった部分に力点が置かれていると感じる。その前段の発症予防の観点から、日常的な栄養指導やその関係機関との連携など、地域においての予防に向けた取り組み状況について

答 地域からの要望があれば、本市の在宅栄養士による出前講座として地域に出向き、集

団を対象とした健康教育を実施しているが、今後は、個別指導もあわせて実施していきたい。

その他の主な質疑

- ケースワーカーの適正配置について
- 公立保育所の今後のあり方と民営化等計画に係る保護者や地元住民の理解について
- 分別排出された資源ごみの有価物としての考え方と取り扱いについて
- 環境生態系保全事業及び水産基盤整備交付金事業に係る国及び県からの補助対象経費について
- クルーズ客船誘致事業における本市への経済波及効果について
- 八千把地区土地区画整理事業の実施予定面積と売却状況について
- 災害時用備蓄資材整備事業と都市公園安全・安心対策緊急支援事業の関連性について
- 兼任校を持つ学校支援員等に対する交通費の支給状況について



特別会計

◆八代市介護保険特別会計決算 《歳入・歳出》

問 地域自立生活支援事業における食の自立支援事業の対象者や内容について

答 この事業は、食事の準備や調理等が困難な六十五歳以上の高齢者のみで構成される世帯を対象とし、昼食又は夕食のいずれかを、週三回を上限として配食のサービスを行うもので、事業実施に当たっては、民間業者へ委託しているが、食事の配達とあわせて、対象者の安否確認も行っている。

問 介護保険事業の主流は施設介護から在宅介護へと移行してきているが、両者にはサービスや負担に差異があり、それを埋めるためにも、この中で家族介護支援事業は非常に重要となってくることから、今後の対応について

答 国の方針も、在宅医療、在宅介護の充実、医療と介護の連携など、さまざまな生活支援サービスを一括して提供できるような体制づくりを目指すとしており、本市においても国の動向を注視しながら、第六期介護保険事業計画の策定に向けて体制づくりをしていきたい。

その他の主な質疑

- いきいきサロン、高齢者筋力アップ教室等参加者の男女比率及び男性高齢者の参加を促す事業の取り組みについて
- 要介護申請から認定結果通知にかかる日数について



◆八代市公共下水道事業特別会計決算 《歳入・歳出》

問 昨今の経済不況の中、水洗化の促進や下水道料金の徴収も厳しい状況にあるが、公営企業となると、さらに収益性を高めなければならぬ。今後の財政の黒字化に向けた具体的な方策について

答 普及率の向上や下水道料金の改定によって、収益を確保しながら、設備投資を行っていくことになるが、企業会計を導入することによって、経営状況を明らかにし、今後の公共下水道の整備方針を検討することも重要となってくる。

その他の主な質疑

- 公営企業会計導入による公共下水道整備の進捗率への影響について
- 繰越明許費の内容について
- 実質収支額の一一般会計への戻入について

総括

○まちづくり交流基金積み立てのうち約八億円については、もともと本市の出資分が返還されたものであるから、特定の基金へ積み立てるのではなく、より幅広く活用できるように一般会計へ繰り入れができないのか今後の検討を願う。

○今回の決算審査から事務事業評価方式が導入されたことは評価するが、どうしても執行部みずからが事業評価に当たると、お手盛りとなってしまう点が見受けられる。平成二十八年度からは段階的に地方交付税が削減されることから、職員の意識改革や意識づけを徹底し、事業に対する評価をより厳しくする必要があるのである。

○国県支出金が多くを占める事業については、それを理由に事業評価が行われていないものがあり、たとえ国県支出金であっても市としての事業評価は必要である。

○単に見積もり合わせだけで予算が執行されているケースも見受けられることから、十分

な審査を行い入札の活用を願いたい。

○本市の経常収支比率は八九%であり、財政の弾力的な運用が難しいこともあり、なかなか新しい事業が見出されていなかったように思う。今後の財政運営をしっかりと頑張りたい。

○事務事業評価の結果については平成二十六年年度の当初予算編成の際には、確実に反映されるようしっかりと対応を願うとともに、補助金については、交付後の追跡調査や効果の検証を行い今後のあり方を考える必要がある。

○一般会計から繰り出している特別会計の運営には危惧するものがあり、特に公共下水道事業では整備方針の見直しなどによる将来の収益性確保を図る必要がある。

○市税や補助金が投入された事業に即効性がなくとも、いかに本市の五年から十年後のイメージ、まちづくりに効果的に働くかが最も大事なことであり、時代の変化に対応するため未来への想像力や発想力が今後はより重要となってくる。職員には先取りの知恵をぜひ働かせていただき、さらには、弱い地域や弱い部分の予算を切り捨てることなく、まずは支所機能の強化を図り、それぞれの地域の市民が一体となって本市の成長へとつなげていただきたい。

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、12月2日から5日までの4日間、19人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

行政関連



矢本 善彦

質問通告

○八代城跡群国史跡指定について
○やつしろ全国花火競技大会について

◆八代城跡群国史跡指定について

問 八代城跡群として、古麓城跡、麦島城跡、八代城跡が国史跡に指定され、これまでの地元地所有者、関係者等の取り組みと御努力に感謝とお祝いを申し上げます。国史跡指定に至るまでの経緯と概要、文化財としての評価について問う。また、今後の国史跡指定に伴う保存・活用についての取り組みを問う。

答 **市民協働部長** 八代城跡群のそれぞれの城跡について、地元関係者や地権者等に対して説明会等を開催し、同意書の取得を進め、平成二十五年七月に国史跡指定に関する意見書提出した。国の史跡に指定される範囲は、約二十四万六千平方メートルに及んでいる。中世から近世にかけての城郭の立地と構造の変遷を、一つの地域で見ることができ、点が最も評価された。今後、平成二十七年から二力年をかけて保存管理計画を策定し、保存・活用を図っていく予定である。



上村 哲三

質問通告

○個別の未利用等の市有資産の活用について
○荒瀬ダム撤去に伴う諸問題について

◆荒瀬ダム撤去に伴う諸問題について

問 昨年九月、荒瀬ダム撤去工事が始まり、以来、堰堤の通行が不能になった。地元住民は不便を強いられている。そこで、ダム撤去に伴う地域の課題として市の認識しているものは具体的に何か。また、それに対する対応はどうされるのか。加えて、荒瀬ダム撤去に関する地域の課題について、市長の認識を伺う。

答 **市長・企画戦略部長** 消防水利の確保や代替橋の建設等は、いまだ地域の理解を得るには至っていないと認識している。消防水利については、関係各課と八代消防署坂本分署にて現地確認を行うなど検討を進めている。葉木地区では球磨川への下り道の存置に向け、県の協議が整ったところである。今後も防火水槽の設置等、市としても安心・安全の確保に努めてまいりたい。代替橋については、地域の御不安や御不便を解消するために荒瀬ダム地域対策協議会の中でしっかりと協議していく。



古嶋 津義

質問通告

○イグサ移植機、刈取機の生産再開への取り組みについて
 ○武道館建設の進捗状況について
 ○高齢者スポーツ振興と施設利用について
 ○有佐駅前周辺における防火・農業水利について

◆有佐駅前周辺における防火・農業水利について

問 有佐駅前住宅火災の折、大力川の水量が不足していたため、消火活動がままならず延焼を防ぐことができなかった。大力川の水量確保は防火の面だけでなく、上鏡地区や下有佐地区の農業用水の確保も図らねばならない。河川管理者である県の二月の取水停止は唐突であり到底納得できない。有佐駅周辺の防火、農業水利について対応を伺う。

答 農林水産部長・市民協働部長 氷川の清流を引き込む大力川の水は、日常生活に密着した水利使用である「地域用水」と、かんがい用水としての「農業用水」の二つの要素を含んでおり、古くから慣行水利権として使用されてきた。地域住民にとって大切な水であり、従来どおりの水量確保に向け、県に強く要望していく。また、有佐駅周辺の消防水利は、総務省が定める「消防水利の基準」をほぼ満たしているが、大規模火災等では、補完する水利・水量が必要であるため、消火機能の強化に努める。



野崎 伸也

質問通告

○市職員の飲酒運転報道について
 ○市長の市政運営・政策の実現に向けた具
 体策について

◆市職員の飲酒運転報道について

問 市職員の飲酒運転について、十一月二日付の新聞報道にて確認した。その後、行われた記者会見を見ても、事件当時の詳しい状況や、処分決定までの経過が不明瞭であった。そこで、説明を求めるとともに、今後の再発防止策について伺う。

答 総務部長 職員が、校区民体育祭の反省会で飲酒した後、連絡がとれなくなった参加者を捜索するため、自動車を運転したものである。本事案は、職員賞罰等審議会において、懲戒処分等に関する基準により審議を行い、当該職員を減給（十分の一）三月、管理監督職員を厳重注意とした。再発防止の新たな取り組みとして、全職員から飲酒運転撲滅に関する「誓約書」を提出させ、さらには「一定基準以上の交通違反点数の累積となった場合の報告」義務づけ等を行った。



笹本 サエ子

質問通告

○八代市長の退職手当の特例に関する条例の制定について
 ○九州新幹線騒音・振動問題について
 ○第六期介護保険制度について

◆八代市長の退職手当の特例に関する条例の制定について

問 市長はみずからの退職金は受け取らないとする特例条例をなぜ提案し、どのように考えているか議場では語っていない。九月二日市長当選直後の最初の記者会見での発言は市民への「約束」だと市民は受けとめている。市長は市民への約束という認識はお持ちか。あわせて再提案する考えはないか伺う。

答 市長 「行財政改革」のさらなる推進に
 対して強い決意をもって取り組む姿勢を示すものとして、みずからの退職手当を受け取らないとした議案を九月定例会へ提出したが、議会の理解を得ることができず、議案が否決された。議会の決定は非常に重いものであり、市民の負託を受けられた議員の皆様からの意見は真摯に受けとめなければならぬと認識している。議案を再提案するか否かは、議会の決定や議員の皆様の見解を踏まえ、十分検討していく必要があると考えている。



亀田 英雄

質問通告

○市有施設の防火・防災体制の整備状況について

○山間地域の対策について

○平成二十六年年度予算の編成について

◆市有施設の防火・防災体制の整備状況について

問 八代市が保有する施設の防火管理体制について、現在の状況を問う。特に子供たちが暮らす施設における防火施設の整備状況について、どのような状況なのか伺う。さらに、施設を設置者が全体の状況を確認する必要があると考えるが、どのように考えるか伺う。

答 **総務部長・教育部長** 本庁舎等施設は各管理者が、また、指定管理者制度導入施設はその施設管理者が、防火管理者を選任し防火対象物の管理を実施している。学校でも防火設備を設置し定期的な点検を行っており、老朽化に伴う動作不良等の箇所については、予算の範囲内で早急な補修・整備に努めている。今後は、各部署で要改修箇所を把握し、計画的な整備を行うとともに、設置者として各施設の防火管理者に防火管理体制のソフト・ハード面の整備促進を周知したいと考えている。



堀口 晃

質問通告

○新年度予算編成に臨む市長の考え方について

○電力の小売自由化に伴う本市の取り組みについて

◆電力の小売自由化に伴う本市の取り組みについて

問 経済産業省の規制緩和により電力が小売自由化となった。地域の電力会社に限らず電気の購入先を自由に選択し、電気料金の削減ができる制度である。本市では財政コストの削減は今後の重要課題となってくる。本市は電気供給の入札制度が整備されておらず、新規参入ができない状況である。入札制度の導入は必要だと考えるが導入の考えはないか伺う。

答 **総務部長** 電力の小売自由化に伴い、国や県の施設では、地域の大手電力会社と新規参入の電力会社による電力供給の入札があり、本市も主要な施設の所管部署により入札の可否を検討している。入札は経費の節減を見込めるが、応札がなく地域の大手電力会社と随意契約した結果、経費が大幅に上昇した事例もある。こうしたメリットとデメリットの両方があるが、平成二十六・二十七年度の指名願申請受け付けで、新たに電力供給の希望業種を設け、入札に対応できる体制を整えた。



幸村 香代子

質問通告

○寡婦控除みなし適用について

○コンビニエンスストアとの連携について

○幼稚園・学校の給食アレルギー対応食について

○人事政策について

◆コンビニエンスストアとの連携について

問 近年、コンビニエンスストアの社会的存在価値は高くなり、地域にとつてなくてはならないお店になっている。八代には五十ほどの数があり、こと共同で事業を進めることは有意義であると考え。そこで、地方税の収納業務をコンビニエンスストアで行えるようにし、市民の利便性を高め、収納率の向上を図る考えはないか伺う。

答 **総務部長** 平成二十六年九月の全庁的基幹システム入れかえに伴い、そのシステムにコンビニエンス機能を組み込むことができるため、今まで課題となっていた初期費用の負担が軽減されることになった。コンビニエンスは、納税者の利便性向上と納期内納付率向上が期待できるため、新たな納付方法として、早ければ平成二十八年度からの導入を図りたいと考えている。取り扱いを予定している税目は、市県民税、固定資産税、軽自動車税及び国民健康保険税としている。

環境関連



大倉 裕一

質問通告

- 環境センター建設事業について
- フッ化物洗口の取り組みについて
- パSPORT業務について

◆環境センター建設事業について

問 環境センター建設は喫緊の課題である。債務負担行為とは、次年度以降の一般会計における環境センター関係費用について担保を示すもので、議会の承認が必要である。債務負担行為の提案を見送ることは、今回で二回目であり、当初計画と比較すると、六カ月のおくれが生じている。債務負担行為を見送った理由とそのことによる影響について考えを伺う。

答 市長・環境部長

大きな予算を必要とする本事業は、課題を一つ一つ解決した上で、事業を進めていく。先日の建設環境委員会の意見も踏まえた上で議会と同じ方向を向いて進めるため、十二月議会への債務負担行為提案は見送った。本事業は、平成二十九年度末の完成を目標として、事業者選定を総合評価方式一般競争入札により行うこととしており、その際、入札参加者が提案を行うので、現段階で工期への影響は明確に示すことはできない。



橋本 隆一

質問通告

- 市民の防災意識の向上を図るための取り組みについて
- 外国人住民票登録者の状況について
- 太陽光発電の促進について
- シヨウガの青枯病対策について

◆太陽光発電の促進について

問 再生可能エネルギーの固定買い取り制度の導入により、太陽光発電の需要は今後伸びていくと思われる。その普及促進を図るために、発電事業者と太陽光発電を設置することを目的とした「土地・屋根貸し」を希望する土地・建物所有者とを自治体が窓口となり、双方を結び「太陽光発電推進マッチング事業」への取り組みに対して市の見解を問う。

答 環境部長

これまで本市の施策としてマッチング事業について検討してきた経緯はないが、今後さらに太陽光発電を普及させていく方策の一つであろうと考える。一方で、今後の国のエネルギー政策の動向が及ぼす影響や市民間事業に關与することへのメリットやデメリットなど、整理すべき課題も多い。太陽光発電の普及に当たっては、マッチング事業を含め、先進地の事例や情報を収集するとともに、行政の立場として何ができるのか、今後研究してまいりたい。

建設関連



中村 和美

質問通告

- 日奈久港航路しゅんせつ工事について
- 市長のマニフェストについて
- 市立武道館建設について

◆日奈久港航路しゅんせつ工事について

問 日奈久港を利用する漁船は、水深が浅く、満潮時のみの出入りと聞く。漁の効率化や、漁民の皆様の安全性が保たれていないと本議員は非常に心配している。潮の干満に関係なく出入りができることが漁船、客船の安全につながり、また日奈久町なかの誘客にもつながると思う。早急に、航路幅や水深のしゅんせつを願うが、市の工事予定を伺う。

答 建設部長

日奈久港を利用している船舶は航路の埋没により所定の水深が確保できていないことから潮待ちをして港を出入りしている状況である。このような非効率な状況の解消や航行船舶の安全性を高めるため、当面の対策として小型の漁船等がおおむね潮待ちせず航行できるよう、幅十五メートル水深マインナー・五メートル延長約五百メートルの計画で今年度末からしゅんせつ工事を行う予定である。今後も状況を見ながら必要に応じて航路幅の拡幅や水深の確保を行っていく。



島田 一己

質問通告

○本市のイグサ生産振興について
○郡築地区の排水対策と上流域での雨水対策について

◆郡築地区の排水対策と上流域での雨水対策について

問 郡築新排水機場の完成が、平成三十二年度末に予定されているが、その後の進捗状況と今後の予定を問う。
また、上流域の雨水対策について八千把地区、松高地区への調整池計画の現状と今後の予定について伺う。

答 農林水産部長・建設部長 郡築地区での排水対策として、新たな排水機場の整備と既存の郡築排水機場の補修について、同時に県営事業としての新規採択を受け、二つの排水機場を合わせて三十三億八千万円の総事業で、平成三十二年度末の完成が予定されている。また、郡築の上流域である八千把・松高地域においても、平成二十八年度から公園の地下等を活用した複数の調整池整備に取りかかり、急激に降った雨水を郡築地区の上流で貯留し、下流への流出を抑制する予定である。



庄野 末藏

質問通告

○グリーンツーリズムの取り組みについて
○市道永碓町三楽町線における安全対策と交通弱者への対応について

◆市道永碓町三楽町線における安全対策と交通弱者への対応について

問 現在メルシャン西側の歩道整備は、平成二十五年年度末に完成、旧山下酒店前の交差点の安全対策は、八代警察署と市が協議し、今後利用者が安心して、安全に利用できるよう取り組んでほしい。なお臨港線までの区間は大型車の進入禁止措置が必要と思うが、安全で円滑な交通の確保についてどのように考えているか問う。

答 建設部長 旧山下酒店前の交差点については、八代警察署と現地立ち会いを行い、区画線及び視線誘導標等により交差点をスリム化し、通過車両が歩行者を認識しやすくするとともに、歩行者が安全に横断できるように検討している。大型車規制については、八代警察署によると、沿線住民の合意形成に基づき地元からの要望書の提出があれば、検討することのこと。今後、交通安全の啓発等も含め、安全で円滑な交通の確保ができるよう、関係機関と協議を行っていききたい。



中山 諭扶哉

質問通告

○八代市立日奈久若竹保育園の閉園について
○やつしろ全国花火競技大会について
○八代日奈久道路側道について
○イ業専用機械について

◆八代市立日奈久若竹保育園の閉園について

問 日奈久若竹保育園は平成二十五年年度をもって閉園が決定している。閉園に至る経緯と今後の跡地の利用計画について、全体的な市有資産利活用の方針も含めて伺う。

答 健康福祉部長・企画戦略部長 日奈久若竹保育園は、以前から閉園も視野に入れ保護者や地域の皆様と話し合いを行ってきたが、平成二十六年年度の入園児童数が、五名を下回る見込みとなったため再度話し合いを行ったところ、御理解いただいたので、閉園を決定した。今後の跡地利用は決まっていないため、市としての活用策を含め、地域の皆様の意見を伺いながら検討していく。なお、市では、「未利用等の市有資産の活用指針」により、適正な管理と公平公正で透明性のある活用を推進している。

経済関連



前川 祥子

質問通告

○本市の医療費削減と疾病予防について
○空き室のある支所の活用について

◆本市の医療費削減と疾病予防について

問 国の社会保障費は近年増加の一方で、本市も同じ状況下にある。そのうち本市の国保医療費の増加は顕著で、現在百四十二億円。今後医療費削減への疾病予防と早期治療対策はよりきめ細かい地域対応が必要となるが、これまでどおりの保健師と栄養士の人数では、特定健診の保健指導と食育の取り組みへの対応は困難と考える。今後の体制と活用策を問う。

◆市長・健康福祉部長

答 第二次保健計画に基づき、保健師は地区担当制で地域における保健活動を強化し、地域の健康課題の解決に向けて住民主体の取り組みが持続できるように支援。栄養士も各種保健事業の中で在宅栄養士等を活用し、効率的・効果的な栄養指導を充実していく。市民の健康づくりや疾病予防の推進、増大する医療費削減のために保健師・栄養士等の専門職の充実は不可欠。職員採用計画との整合性を図りながらサービスの低下とならないような人員配置を検討していきたい。



西濱 和博

質問通告

○八代港湾区域内の公有水面埋め立てについて
○アジアとつながる八代港の計画・整備及び振興策について

◆アジアとつながる八代港の計画・整備及び振興策について

問 県策定の「港湾ビジョン」等見直しの時期に来ていると思うが、市の認識と対応方針を伺う。また、県市で結んだ「八代港振興に関する確認書」も踏まえ、速やかに八代港の計画・整備・振興策等に関する協議の場を設定すべきである。さらに、港湾行政に関する本市の組織体制を強化するために、国に対し職員を要請する方策もあるが、市長の考えを伺う。

◆市長・商工観光部長

答 港湾ビジョンは、策定から十年ほど経過しており、早期に見直しが必要と考えている。十二月末には、今後の八代港の整備促進や利用促進策を協議するため、国、県、市及び港湾利用者などから成る意見交換会が発足する予定である。本市としては、この場を活用して効率的な事業推進ができるよう積極的に参画していく。また港湾振興に係る組織強化については、本市の組織体制の充実はもとより、国などからの人材確保も必要と考えている。



松永 純一

質問通告

○本市林業の振興について
○有害鳥獣駆除について
○中山間地農業の振興について

◆中山間地農業の振興について

問 泉町では、ユズの栽培が盛んになっている。平成二十五年産は青・黄ユズ合わせて三十トン位であるが、近年の新植の状況からすると、数年後は百から百五十トンに達すると思われる。商品開発や加工所の整備、青果物の市場開拓など、取り組みなければならぬ問題点や課題も多い。このような中、フードバレー構想の中でどのような支援ができるか伺う。

◆市長・農林水産部長

答 泉南フードバレー構想は、本市の農業や食品産業等の発展、特に、中山間地域でこれまで眠っていた産物や少量販売にとどまっていた産物の販売拡大のチャンスであると考えている。このチャンスを生かして泉町の産業と地域活性化の契機となるような取り組みに対し積極的に協力してまいりたい。特にフードバレー構想に伴い設置予定のフードバレーアグリビジネスセンターと連携し、加工品の研究・開発などについて泉町特殊農産物振興協議会と協力して進めてまいりたい。



百田 隆

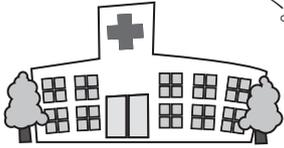
質問通告

○県道二見田浦線の八代側整備状況について
○県道破木二見線の道路改良について
○市立病院の今後について

◆市立病院の今後について

問 本市の市立病院の累積赤字額は四億円以上あり、その改善策として昨年「市立病院あり方検討会」から公営企業法全部適用を平成二十五年度中に実施するよう提言しているが、いまだ実現していないのはなぜか。また、病院の建てかえについても問う。

答 **市長・市立病院事務長** 現在の段階では、医師の確保と施設老朽化の問題、医業収益の向上を最優先課題とし、当面は現状の一部適用のもとで収支改善に向けた取り組みを進め、平成二十九年度までの収支黒字化を目指す。ただし、今後も経営状況が大きく変化することとも考えられるため、全部適用についても継続して検討していく。病院の建てかえについては、現在病院建物の耐震診断を行っており、診断結果を踏まえ、建てかえを含めた今後の方向性について検討していく。



教育関連



堀 徹男

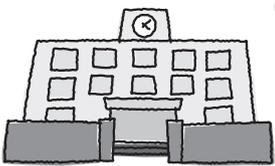
質問通告

○小中一貫・連携教育について
○就学前教育について

◆小中一貫・連携教育について

問 本市では、「小中一貫・連携教育」について、平成二十七年年度の全面実施に向けて取り組んでいるが、第一期モデル校導入から三年が経過した。そこで、これまでの進捗状況を踏まえ、課題と今後の取り組みについて伺う。

答 **教育部長** 本市では、平成二十三年度から順次モデル校を指定し、現在全ての中学校区で完全実施に向けて取り組みを進めている。不登校の減少や、中学校入学への不安感の解消といった成果がある一方、小中の教職員の交流時間の確保の必要性等の課題がある。さらに、保護者への周知が十分でないことも意識調査で明らかになった。各学校に対し、これまで行ってきた広報に加え、保護者が集まる機会を捉えて、各校区の取り組みに対する説明を行うよう働きかけていく。



～ 市議会だよりについて ～

市議会だよりは、年4回（2月・5月・8月・11月）、定例会や臨時会などの質疑・一般質問や議案審議の主な内容を掲載し、発行しています。

「広報やつしろ」と一緒に各家庭に配布しておりますが、支所、出張所、公民館などの公共施設にも置いてあります。

また、ホームページにも、「市議会だより第1号」から順次掲載しています。市のホームページトップ画面右側の「市議会の部屋」内の「市議会からのお知らせ」の中から見ることができます。

※幅広い世代の方のニーズに応えるため、12月1日発行分の市議会だよりから、裏表紙にQRコードを表示しています。携帯電話からも簡単に市のホームページ内の「市議会の部屋」へアクセスできます。

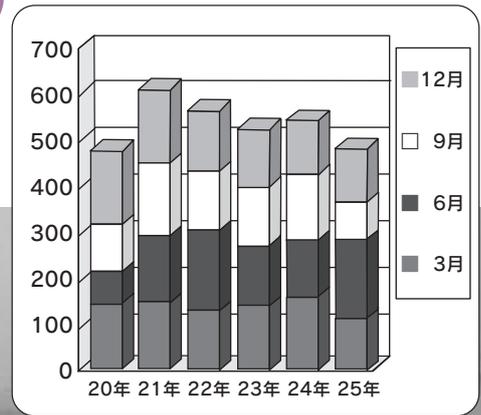
平成25年12月定例会採決結果

| | | 議席 番 | 1 | 2 | 3 |
|---|--|----------|------------------|-------------|------------------|
| 件 名 | | 審議 結果 | 橋 本 幸 一 | 田 中 安 | 田 方 芳 信 |
| ◆決 算◆ (12件) | | | | | |
| 議案第 97号・平成24年度八代市一般会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 98号・平成24年度八代市国民健康保険特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 99号・平成24年度八代市後期高齢者医療特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 100号・平成24年度八代市介護保険特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 101号・平成24年度八代市公共下水道事業特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 102号・平成24年度八代市簡易水道事業特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 103号・平成24年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 104号・平成24年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 105号・平成24年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 106号・平成24年度八代市診療所特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 107号・平成24年度八代市久連子財産区特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 108号・平成24年度八代市椎原財産区特別会計決算 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| ◆予 算◆ (4件) | | | | | |
| 議案第 120号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第8号 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 121号・平成25年度八代市公共下水道事業特別会計補正予算・第2号 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 122号・平成25年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算・第1号 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 123号・平成25年度八代市水道事業会計補正予算・第1号 | | 全 | ○ | ○ | ○ |
| ◆事 件◆ (9件) | | | | | |
| 市 長 提 案 | 議案第 124号・指定管理者の指定について（八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市弓道場、八代市球技場、八代市民プール、八代市民球場、八代市総合体育館、八代市立武道館、八代市相撲場） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 125号・指定管理者の指定について（サンライフ八代） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 126号・指定管理者の指定について（八代市松中信彦スポーツミュージアム） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 127号・指定管理者の指定について（八代市さかもと温泉センター、八代市坂本憩いの家、八代市広域交流センターさかもと館） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 128号・指定管理者の指定について（八代市ふれあいセンターいずみ、八代市農林産物流通加工施設） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 129号・契約の締結について（南川橋梁上部工建設工事） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 130号・市道路線の認定について | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 131号・財産の無償譲渡について | 全 | ○ | ○ | ○ |
| | 議案第 146号・契約の締結について（金剛小学校校舎改築工事） | 全 | ○ | ○ | ○ |
| ◆条 例◆ (14件) | | | | | |
| 議案第 132号・消費税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 133号・八代市振興センター条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 134号・八代市五家荘観光施設条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 135号・八代市ふれあいセンターいずみ条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 136号・八代市簡易水道事業給水条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 137号・八代市税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 138号・八代市公共下水道事業（八代処理区・八代東部処理区）受益者負担及び受益者分担に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 139号・八代市都市計画下水道事業（鏡処理区）受益者負担に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 140号・八代市介護保険条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 141号・八代市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 142号・八代市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 143号・八代市市税条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 144号・八代市立保寿寮条例の廃止について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 145号・八代市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| ◆人 事◆ (2件) | | | | | |
| 議案第 147号・人権擁護委員候補者の推薦について（上田護氏） | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| 議案第 148号・人権擁護委員候補者の推薦について（橋口邦憲氏） | 全 | ○ | ○ | ○ | |
| ◆請願・陳情◆ (2件) | | | | | |
| 陳情第 6号・乳幼児医療費無料制度の創設を求める意見書の提出方について | 否 | × | × | × | |
| 陳情第 9号・八代市地域公共交通における一般乗用旅客自動車運送事業の活用推進について | 全 | ○ | ○ | ○ | |

開かれた議会を目指します

市民の
皆様も

議会を 傍聴しませんか



本議会傍聴者数推移(臨時議会を除く)

市議会は、3月、6月、9月、12月に定例議会が開催されます。市民の皆様への負託を受けた議員が、市民の代弁者として質問したり、提言をして、市長を初め、行政側から改善に向けた答弁を引き出しています。市民の目線で住みよい八代市を目指し活動しています。市民の皆様の傍聴をお待ちしています。お出かけ下さい。

| 議会 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 3月 | 140 | 147 | 128 | 139 | 158 | 111 |
| 6月 | 75 | 144 | 174 | 128 | 123 | 170 |
| 9月 | 101 | 155 | 131 | 128 | 144 | 83 |
| 12月 | 161 | 163 | 128 | 129 | 114 | 117 |
| 合計 | 477 | 609 | 561 | 524 | 539 | 481 |



傍聴席



受付



傍聴席
入り口

議会棟西側傍聴席入り口から入り、2階受付で傍聴券に記入すれば、誰でも自由に議場後方席で傍聴できます。

編集後記

昨年からいつつくような寒さが続いておりますが、これも地球温暖化現象の一つではないでしょうか。

また、昨年はPM2.5の影響や台風・竜巻による被害が大きく報道された一年でもありました。これも人類の発展・発達に伴う空気汚染、各地の異常気象や自然災害へとつながったのではないのでしょうか。

一方、明るい話題もありました。二〇二〇年に東京でオリンピックが開催されることが決まり、日本中が大いに沸きました。現役のアスリートの方々もそうですが、現在の小・中学生にも出場できるチャンスがあり、日本全国から大きな期待と関心が寄せられています。

市民の皆様には、よりわかりやすい議会だよりを提供できるように市議会が一丸となって頑張っております。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

